

ZEB※化支援など

※「ZEB」とはZero Energy Buildingの頭文字で、快適な室内環境を維持しながら、建物で消費する一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした業務用の建物のこと。

3月定例会 予算議会

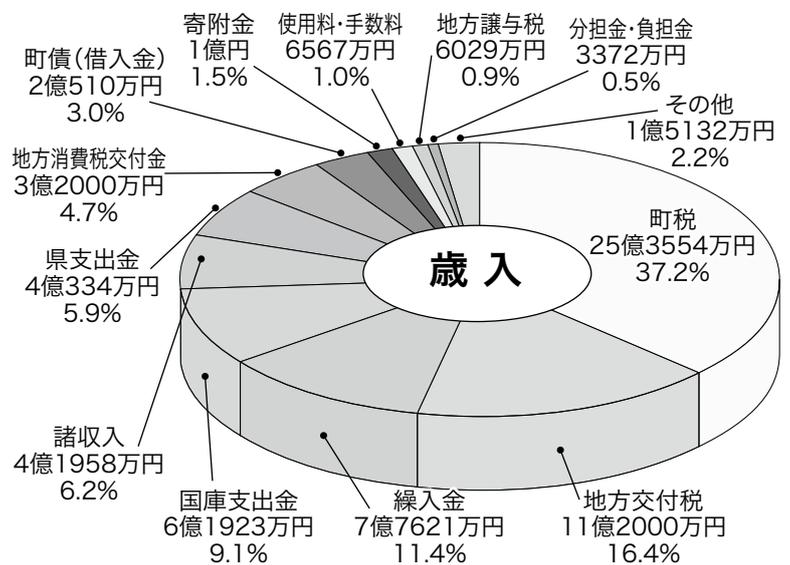
108億9671万円

令和6年第1回定例会は2月29日に開会され、専決処分承認のほか、令和6年度の一般会計予算をはじめ各特別会計予算、公営企業会計予算、条例案、工事変更請負契約の締結及び令和5年度補正予算等を原案のとおり可決し、21日に閉会した。一般質問には、10名が登壇した。

一般会計
68億1000万円
(対前年度7.1%増)

歳入

町税約25億円(前年度比2.4%減)

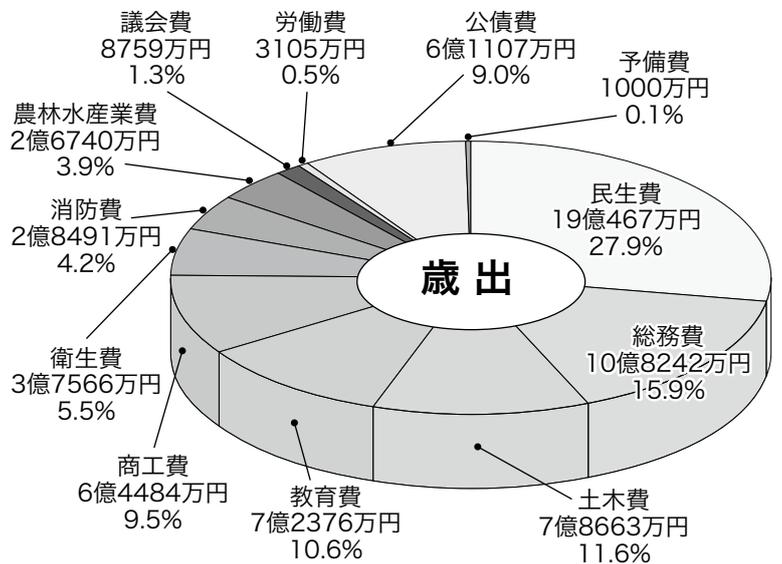


歳入

前年度に対して、法人町民税は同額、個人町民税は国の定額減税の影響に伴い4千万円の減額、固定資産税については、3年ごとの評価替えによる地価下落の反映に伴う固定資産税課税標準額の減額により、2500万円の減額を見込んだこと

歳出

新たにがん患者へのアピランスケア用品の費用助成

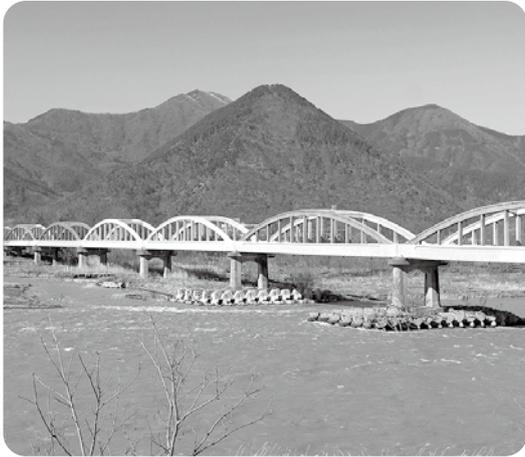


歳出

から、町税全体では、前年度と比較し、6239万円の減を見込む。

幹的な機能に加え、子育て支援センターや図書館の機能を含む、新複合施設建設事業として、基本設計等に係る予算を計上し、建設に向けた準備を進めていく。また、がん患者へのアピランスケア用品の費用に対する助成や、小学校150周年記念事業補助金などの費用を計上した。

令和6年度 予算 新複合施設基本設計、坂城テクノセンター



修繕が進む昭和橋

令和6年度 予算総額

特別会計
30億6601万円
(対前年度20.4%減)

公営企業会計
(下水道)
10億2070万円

会計名	予算総額	対前年度増減率
国民健康保険	13億5446万円	△5.7%
介護保険	14億2327万円	△1.3%
後期高齢者医療	2億8828万円	11.8%

会計名	予算総額	対前年度増減率
下水道事業	10億2070万円	—

国民健康保険

保健事業を推進するため、保険税収入を主な原資として県へ納める事業費納付金と、県からの交付金を原資に支払う医療費に対する保険給付費等。前年度比△5.7%、8247万円の減。

介護保険

第9期介護保険事業計画に基づき、保険給付と地域支援事業を実施する。前年度比△1.3%、1840万円の減。

下水道事業

5年度末の面整備率は約96%であり、引き続き、点在する未整備地区の整備を進める。

後期高齢者医療

被保険者から保険料を徴収し、制度運営主体である後期高齢者医療広域連合へ納付する。前年度比11.8%、3048万円の増。

また、6年度からは、総務省による公営企業会計適用への要請により、下水道事業特別会計から地方公営企業法に適用する公営企業会計へと移行する。



春の訪れ(ふるさと歴史館)